



明峰

令和8年1月16日

第 23号

校長 岡野利男

※23号は、写真もイラストもない文字だらけの紙面になってしまいました…。せめてものお詫びに、犬塚さんからの贈り物を。ロウバイ、ストック、葉牡丹です。



「令和8年のはじめ」に一つの提案

大変遅くなりましたが、新しい年の最初の「学校だより」となりました。保護者の皆様、地域の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

校舎に生徒たちの元気な声に戻ってきて、早一週間が経過したところです。

3年生は、今、まさに「受験ウイーク」の只中です。緊張を伴いながらも“いい顔”で過ごしています。

2年生は、学校の主役としての姿に変化しつつあります。2学期までとは“落ち着き”が違います。

1年生は、相変わらず元気です。先輩という存在になるための「0学期」を合言葉に頑張っています。

一方、社会に目を向けますと、わずか16日間ほどの中で、実に様々な出来事がありました。アメリカ合衆国のベネズエラ攻撃と大統領夫妻拘束には驚きと不安を覚えますし、中国による日本企業向けのレアアース輸出規制が日本経済に及ぼす影響を思えば暗い気持ちになります。ここ数日の話題は、もっばら来週始まる通常国会の早期段階での衆議院解散ですよ。長崎県においては2月8日に知事選が実施される予定であることから、これも衆議院選と同日に変更されるかもしれないなと思ったり、2つの政党が中道路線掲げてつくる新党の名称は何だろうと思ったり…。他人事のようにこんなことを考えている私とは違って、明日からの大学入学共通テストを控えた受験生やその親御さんは、気が気でない数日でしょう。(明峰の保護者の方にも「私もその一人です」という方がいらっしゃるはず。お疲れ様です。)

当たり前のことを申しませんが、80億を超える人が生きていて、190を超える国がある世界は毎日動いています。自分に何が起きようと、世の中は絶えず変化しています。生きていくためには、どうしても社会の動きを知っておく必要があります。

今年の提案です。お子さんの学習や生活のこととは切り離れた、もちろん、家族の誰の事とも切り離れた「世の中の動き」を、毎日2分間でいいので家族で語り合うこと、お勧めします。政治、経済、国際、どんな分野でもいい。スポーツ、芸能、OKです。

私の教師としての経験値です。お家の方とそんな会話をしている子は、伸びます。そして、お子さんの新たな一面を見ることもできます。ぜひ!!

四方山(よもやま)話

毎日新聞に、「余禄」というコラムがあります。長崎新聞の「水や空」、朝日新聞の「天声人語」と同じように毎日の1面に掲載されているものです。

本年1月1日の「余禄」に、“なるほど”と思うことが書かれてありましたのでそれを紹介いたします。

(なお、誤解のないよう申し上げますが、たまたま本校が購読している日刊紙が毎日新聞であり、たまたま1月1日のコラムを読んだだけであって、私は各種新聞を隅から隅まで読むような勉強家ではありません…。)

さて、前述の“なるほど”は、「80年循環説」です。人の寿命に応じて社会の担い手が大きく入れ替わろうとする時期に、国家や社会の大きな転機が訪れるというもの。アメリカ合衆国で言えば、独立戦争(1775~1783)の終了後、南北戦争(1861~1865)、そして第二次世界大戦(1939~1945)と約80年周期で戦争が起き、国としての進路が転換したこと。我が国においても国の形を大きく変えたのは、明治維新(主に1860年代)と太平洋戦争(1945)の敗北であること。「われらの齢は七十歳長くて八十歳」という旧約聖書の言葉を用いつつ、これからを担う世代が平和を守る八十年であることを願うという内容のコラムでした。

【人生100年時代】が定着しつつある今、「80年循環説はいかがなものか」の声も聞こえてきそうですが、3日前に入った久米宏さんが81歳で亡くなったというニュースには、大きなショックを受けました。おそらく大半の保護者の方にとっての久米宏さんは、テレビ朝日の「ニュースステーション」でしょう。私の世代ではやはりTBSの「ザ・ベストテン」や「ぴったしカン・カン」の久米さんです。軽快な語り口とユーモラスな話で大人気の方でした。黒柳徹子さんの「本当の親友だった」や小宮悦子さんの「途方に暮れています」の追悼コメントは、久米さんがどれほどの存在だったかが偲ばれるものです。とても寂しいニュースでした。

「戦後の昭和」の象徴のような方々が亡くなられていきます。80年循環説なんて言いたくはありませんが、全ての人に死は訪れるのですから受け入れるほかありません。ただ、久米さん然り、偉大な方が歩まれた道は尊く学ぶべきことがあまりにも多い。ご冥福を祈りつつ、しっかりとその方の人生を“知る”ことに努めたいと思ったのでした。